

2024年12月2日以降のマイナ保険証利用に関する実態調査 結果

2025年5月 京都府保険医協会

2025年3月12日～24日 FAX登録会員1701に送付

<参考> 全国保険医団体連合会(5/8)

回答数	120	京都医科
-----	-----	------

9741	全国
------	----

全国保険医団体連合会が2月から3月にかけて実施した「2024年12月2日以降のマイナ保険証利用に関する実態調査結果」を5月8日に発表した。全国調査は今回で5回目になる。33都府県から9,741医療機関が回答。このうち京都の医科医療機関は、FAX登録会員1720に送付し、120医療機関から回答があった。回答率7%は前回(24年8月)22%から大きく下げた。

1)直近のマイナ保険証の利用率はおおよそどれくらいですか

→厚労省はマイナ保険証の2月の利用率が26.62%だったと明らかにしており、おおむね符合する結果となっている

10%未満	25	21%	1846	19%
10～20%未満	31	26%	2401	25%
20～30%未満	28	23%	2281	23%
30%以上	29	24%	2574	26%
行っていない	1	1%	152	2%
わからない	3	3%	285	3%
無回答	3	3%	202	2%

2. 12月2日以降の窓口業務についてお伺いします。負担が生じたと感じますか。

→12月2日以降に「とても負担」「負担」合わせて63%が業務に負担が生じたと感じている。逆に「減った」は4%であった

とても負担を感じる	23	19%	1542	16%
負担を感じる	53	44%	4374	45%
変わらない	39	33%	3035	31%
負担が減った	5	4%	597	6%
無回答	0	0%	193	2%

3. 12月2日以降、窓口において発生しているトラブル事例はありますか(複数回答可)

→トラブル事例は、①「●で出る」66%(前回75%)②カードリーダーのエラー45%(前回52%)③「資格情報が無効」32%(前回53%)④マイナ保険証の有効期限切れ」27%(前回25%)⑤「名前や住所の不一致」27%(前回23%)の順。順番にほとんど変動はないが、前回より①～③の割合が減少する一方、④⑤の割合が若干上がっている。全国では④が大幅に増加(14%→31%)していることを問題視

●で出る	80	67%	6344	65%
カードリーダーの接続不良・認証エラー	54	45%	4280	44%
資格情報が無効	39	33%	3740	38%
マイナ保険証の有効期限が切れていた	33	28%	3023	31%
名前や住所の不一致	33	28%	1965	20%
該当の被保険者番号がない	21	18%	1142	12%
限度額認定に誤り等があった	10	8%	436	5%
負担割合の齟齬	7	6%	762	8%
国保	0	0%	207	2%
社保	0	0%	97	1%
後期高齢	5	4%	362	4%
他人の情報が紐づけられていた	0	0%	175	2%
その他	19	16%	1699	17%
特にトラブルはない	12	10%	1029	11%

4. トラブル・不具合の際、どのように対応しましたか(複数回答可)

→トラブル対応で最も多いのは「健康保険証で資格確認」が65%(前回86%)、次いで「前回来院時の情報をもとにに対応」が36%(前回44%)。「いったん10割負担」が14%で前回の9%より上がっている

その日に持ち合わせていた健康保険証で資格確認をした	78	65%	6804	80%
前回来院時の情報をもとにに対応	44	37%	3667	43%
「資格情報のお知らせ」で確認した	20	17%	1644	19%
レセコンメーカーに相談をした	18	15%	1124	13%
「いったん10割負担」をいたしました	17	14%	1087	13%
保険者・コールセンターに相談をした	15	13%	1236	15%
「マイナポータル」(スマホ画面・PDF)で確認した	9	8%	433	5%
その他	12	10%	782	9%

20件以上

1891件以

5.マイナ保険証の利用についてメリットを感じる事はありますか。メリットを感じると回答した方は、具体的な内容もお教えてください

→メリットを感じる」33%が「感じない」22%を上回ったが、これは全国と逆の傾向がでている。

感じる	40	33%	2584	27%
感じない	26	22%	2895	30%
どちらともいえない	52	43%	4065	42%
無回答	2	2%	197	2%

6.従来の保険証の「復活法案」(併用法案)が国会に提出されました。保険証を復活し、併用できるようにすることについてどのように考えますか

→保険証の「復活を望む」は62%で、「望まない」8%を大きく上回った。

復活し併用できるようにすべき	74	62%	6682	69%
復活を望まない	10	8%	620	6%
どちらともいえない	33	28%	2265	23%
無回答	3	3%	174	2%

7.自由意見

1	(京) 保医協が基本的にはマイナカード反対でないことに（総会方針）がっかりしました。ほとんどの方が反対だったと思うのですが…。
2	令和6年12月2日以前に国民健康保険に加入している方は、オンライン資格確認で有効期限が空白となっており、行政に確認したところ「今後も京都市は空白のままです」と返答された。オンライン資格確認は加入も切り替えも手続きに1週間程かかるとのことなので、有効期限が切れている場合でもオンライン資格確認画面には「有効」と表示される為有効期限が確認できないと困る
3	保険情報をデジタル化するためにはマイナンバーを紐づける必要はそもそもなく、弊害大きく、保険証をIT化すれば済む話である
4	保険情報が確実に紐づけされていれば問題はないと思います
5	マイナンバーのメリット・デメリット、両方あるので、保険証を復活して併用してほしい、お年寄りや、マイナカードの無い方の為にも、事務の負担が増えている
6	有効期限切れで更新ない場合は自動的に資格確認証が進られてくるならそれで充分になるのではないか。個人のプライバシーが知られてしまう可能性があり、併用であるべきだと思う
7	マイナ保険証のメリットは皆無で、混乱だけが増えた。元の保険証に戻してほしい
8	費用がかかる、手間が増えた、災害時に停電したら使えなくなる
9	マイナ保険証でなくてもオンライン資格確認だけでいいかもしれない。維持コストが増えていかないか心配。マイナと関係なしにスマホにアプリとしてインストールできればいい
10	負担ばかり
11	マイナ保険証に出来る限りの情報を入れ一本化してほしい
12	マイナ保険証は既存の保険証の不正利用止めるためには有効だが機器のトラブルが多く現場で負担が多い
13	マイナンバーにすると決めたならブレずに、やり通してほしい
14	現在のところ負担感の方が多い印象です。保険証とマイナンバーカードの情報を統一して欲しい
15	さすがにIT化していかないと子供達の世代に負担がまわってしまうので早く効率化すべき
16	そもそも外国人が簡単に日本のインフラでもある保険のただのりを防ぐために10倍ぐらいとればいい
17	制度の充実（マイナ保険）を望む
18	他病院の処方が当月分は見れない、直近でもすぐ見れるようにしてほしい
19	マイナ保険証の利用を促進すべき
20	高齢者はマイナンバーを取得できていない方が多く、保険証も必要である
21	導入する時の業者の中抜きがえぐい
22	保険証は復活するべき
23	マイナンバーカードは便利だと思います。
24	公費との紐付けができていないケースが多いため、今後の改善に期待します
25	高齢者は暗証番号を忘れる人が多い（顔認証はできるが）小児は（顔認証がしにくい、暗証番号は母がするのでできるが…）
26	これ以上複雑なシステムにならない事を望みます、カードリーダー機械の更新費用の補助を望みます
27	併用ではなく保険証のみの運用で問題ないと考えます
28	協会けんぽの資格確認証が保険証と全く同じようなもので必要性を感じない。従来通りの保険証を発行すれば良いのではないか
29	ETCでも普及に10年はかかっている。国の進め方は性急すぎる
30	マイナ保険証のみに、一本化することはリスクが大きい。併用での確認が現実的ではないでしょうか
31	保険証の確認は、マイナンバーカードで楽になった場合もあるのでどちらともいえません
32	マイナンバーカードの必要性を全く感じない。それどころか、不需要であると考える。従来通りの保険証を提示してもらえば十分である
33	マイナ保険証ができたことにより、手間、負担、経費が増えているとしか思えない